

弘 前 大 学

國 史 研 究

第 157 号

〔史料紹介〕

旧弘前藩医和田家文書について
——一粒金丹伝授報告と調査記録を中心に——（二）

〔資料紹介〕

深浦町・春光山円覚寺薬師堂内厨子
（国指定重要文化財）に記された中世末期——
近世初期の落書をめぐって

弘前市中別所の天明飢饉供養塔

〔学界動向〕

大規模自然災害と歴史文化遺産のレスキュー
——青森県における資料ネット活動にむけて——

〔書評〕

浅倉有子編著

『漆器からみるアイヌの社会と文化』

福井 敏隆
上條 信彦
1

小口 雅史

三上 喜孝

武井 紀子

福井 敏隆

瀧本 壽史

関根 達人

30

川内 淳史

40

大坂 拓

49

―彙報―

◎令和五年度第二回弘前大学國史研究会役員会を、令和六年九月九日（月）に開催し（オンライン会議）、総会内容及び会誌編集について確認した。

◎令和五年度弘前大学國史研究会大会が、令和六年九月一六日（月）、弘前大学創立五〇周年記念会館岩木ホールで開催された（対面とオンラインのハイブリッド開催）。記念講演及び研究報告は左記の通りである。

記念講演

「大名家奥女中研究の現在と課題」

東北学院大学東北文化研究所特別研究員 柳谷慶子氏

研究報告

「旧弘前藩医和田家文書について―一粒金丹伝授報告と調合記録―」

弘前大学國史研究会副会長 福井敏隆氏

その後、弘前大学國史研究会総会が開催され、報告事項として、会務及び活動報告、会計監査及び会計報告、機関誌印刷所変更報告、東北史学会との合同大会について、審議事項として、会則改正、後援依頼等対応、役員改選が行われた。会則改正では、第一条の学生会員については年会費のみの納入とすること、文言が不統一であった「誌代」（第七条・第八条）を「機関誌代」に統一すること、の二点が事務局から提案され承認された。また、本会后援依頼等があった際の諾否決定過程等についての提案があり承認された。ついで新役員の改選があり、会長には瀧本壽史氏の再任が承認された。また、副会長以下役員については会長一任が了承され、新たに中野渡一耕氏と小田

桐睦弥氏が役員となり、本田伸委員と三浦忠司委員が退任された。代表委員は委員の互選（会則第五条）により、大谷伸治委員と古川祐貴委員が再任された。なお、三浦忠司氏は会則第八条に則り名誉会員に指名された。新役員等は左記の通りである。

弘前大学国史研究会役員名簿（令和六年度～令和七年度）

○顧問 小口雅史

○会長 瀧本壽史

○副会長 関根達人 福井敏隆

○代表委員 大谷伸治 古川祐貴

○委員 石山晃子 北原かな子 工藤大輔 熊谷隆次

小石川透 竹村俊哉 鶴巻秀樹 中野渡一耕

藤田俊雄 古川淳一

○監事 小田桐睦弥 竹内勇造

※なお、福井敏隆副会長は、長年の地方史研究や文化財の調査・指定に関わる功績により、令和六年十一月五日に青森県文化賞を受賞されました。ここにご報告させていただきます。

◎弘前大学國史研究会例会を左記の通り開催した。

第一〇二回（対面とオンラインのハイブリッド開催）

①高平 祐利氏「秋田城出羽国府論―渡嶋・渤海との交流から見た

秋田城の機能―」

②佐々木茉乃氏「施行小屋設置の観点からみた弘前藩の天明の飢饉対策」

令和六年一〇月一二日（土）弘前大学人文社会科学部視聴覚ルーム

（HT）

『弘前大学國史研究』投稿規定

- ◎ 論文 四百字詰 60枚程度を原則とする(縦書き、以下同様)
- ◎ 研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度
- ◎ 研究余録 四百字詰 10枚程度
- ◎ 史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度
- ◎ その他(書評・研究動向・歴史随想など) 四百字詰 10枚から20枚程度
- ◎ パソコン等による執筆は、32字×23行×2段で組んで下さい。本文と図版は別のファイルにし、図版の挿入箇所及び大きさ等を本文中に明示して下さい。(投稿申込者には、原稿雛型と執筆要項をお送りいたします。)
- ◎ 横書き原稿を希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。
- ◎ 原稿締切 一月末と八月末の年2回
- ◎ 投稿申込は原稿締切の1ヶ月前までに事務局に申し込んで下さい。事務局のメールアドレス hirodaikokush@gmail.com
- ※ 投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿でお願いします。また、原稿は必ずお手元でコピーをとって保存しておいて下さい。投稿は本会会員に限りです。
- ※ 掲載については、原稿を受領後、編集担当者会議で審査し、審査終了後にご通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。
- ※ 掲載された論文等については、原則として弘前大学学術情報リポジトリで公開します。公開許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、リポジトリ公開についても、著者の責任において権利者からの許可手続きを行って下さい。
- ※ 掲載分の論文等については、抜刷PDFデータ及び掲載誌1部をさしあげます。
- ※ 本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の了承を得て下さい。

令和六年十二月三十日

弘前大学 國史研究 第一五七号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学教育学部日本史研究室内

編集者 弘前大学 國史研究会

振替口座 〇二三〇〇一六三四番